

SmartPSS

機能操作マニュアル

— 目 次 —

1. 本手順書について	3
2. インストール／アンインストール	3
2.1. 環境.....	3
2.1.1. 動作環境	3
2.1.2. ダウンロード	3
2.2. Windows 版	4
2.2.1. インストール	4
2.2.2. アンインストール	6
3. 操作手順	8
3.1. 新規画面簡易説明	8
3.2. SmartPSS 起動	10
3.2.1. 管理者パスワード設定	10
3.2.2. SmartPSS ログイン	10
3.3. SmartPSS への登録	11
3.3.1. デバイス画面の表示	11
3.3.2. カメラ／レコーダの自動検索	12
3.3.3. カメラ／レコーダ手動登録	13
3.3.4. デバイスの接続	14
3.4. ライブ映像表示	15
3.4.1. ライブビュー画面の表示	15
3.4.2. ライブ映像の表示	16
3.4.3. PTZ 操作	16
3.4.4. ライブビュー ストリーム切替	17
3.5. 録画再生	18
3.5.1. 再生画面の表示	18
3.5.2. 録画再生	18
3.5.3. エクスポート	20
3.6. エンコード設定	22
3.6.1. デバイス設定画面の表示	22
3.6.2. エンコード設定	22
3.7. デバイスグループ設定	25
3.7.1. 新しいグループの作成①	25
3.7.2. 新しいグループの作成②	25
3.7.3. 新しいグループの作成③	25
3.8. 便利機能	26
3.8.1. デバイス自動ログイン	26
3.8.2. デバイス情報エクスポート	27
3.8.3. デバイス情報インポート	27
3.8.4. SmartPSS のシステムバックアップ	28
3.8.5. SmartPSS からデバイスへの時刻設定	29

1. 本手順書について

- ・本手順書のアプリケーションは「SmartPSS」のアプリケーションに絞っております。
- ・P2P ならびにDDNS の設定に関しましては、カメラならびにレコーダの手順書を参照してください。

2. インストール／アンインストール

- ・SmartPSSのインストールの手順を以下に明記します。

2.1. 環境

2.1.1. 動作環境

項目	スペック
OS	Windows 7 以 降
CPU	Intel Core i5 以上
ビデオカード	Intel HD Graphics 以 上
メモリ	4GB 以上
解像度	1920x1080 解像度以上

2.1.2. ダウンロード

SmartPSS は弊社のホームページからダウンロードすることが可能です。

2.2. Windows 版

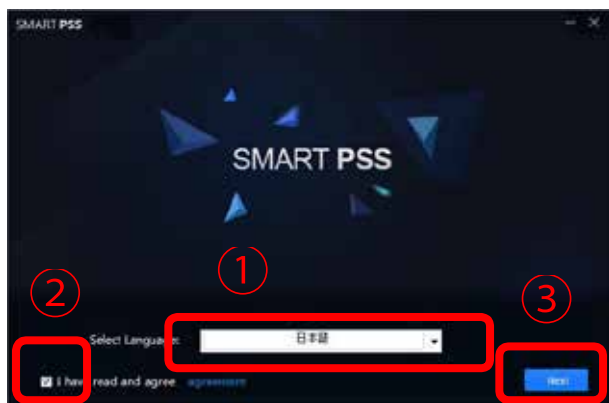
- ・本手順書では SmartPSS のバージョン 2.00.3 の手順を表記しています。インストールされるバージョンによって、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。

2.2.1. インストール

解凍した exe ファイル” SmartPSS_Setup.exe” をダブルクリックしてください。

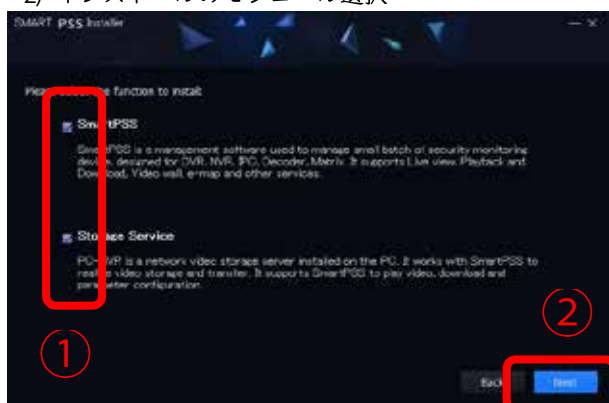
※解凍後の exe ファイルはバージョンによって exe ファイル名が異なります。

1) SmartPSS のインストールの開始



- ①[Select Language]のプルダウンから日本語を選択します。
- ②[I have read and agree]にチェックを入れます。
- ③『Next』をクリックし、次の設定に移行します。

2) インストールのモジュール選択

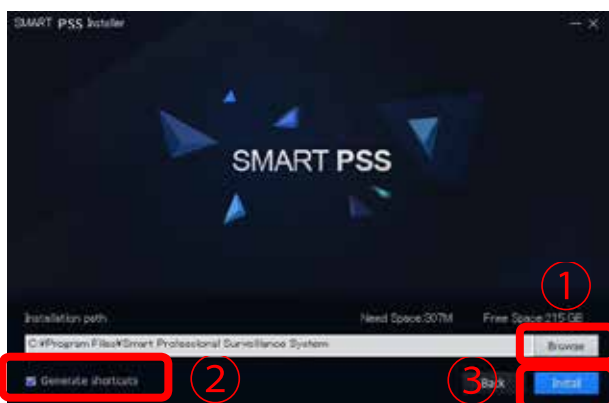


- ①チェック項目からインストールするモジュールを選択します。

SmartPSS	IPC、NVR、監視システム。IPC やレコーダのライブ映像、録画再生などが使用できます。
Storage Service	PC 上で使用する仮想 NVR レコーダです (PC-NVR)。IPC などの録画ができます。※保存領域が小さいので長時間の録画はお勧めできません。

- ②『Next』をクリックし、次の設定に移行します。

3) インストール先とショートカットの作成の設定



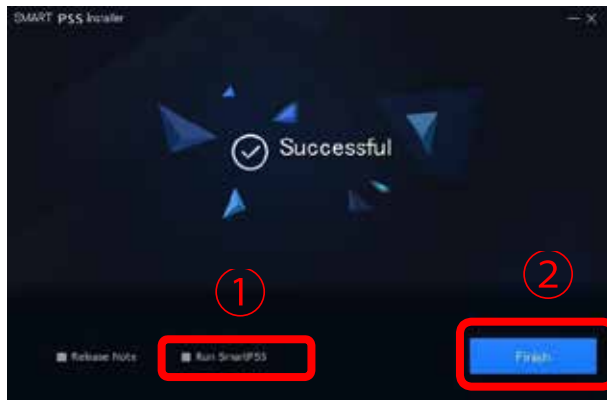
- ① SmartPSS のインストール先を変更する場合は、『Browse』をクリックして保存先を変更してください。
- ② Windows の画面上に SmartPSS のショートカットを作成する場合は、チェックを入れてください。
- ③『Next』をクリックすると、インストール画面に移行しインストールが開始します。

4) インストールの進捗状態の画面



※SmartPSS のインストール先を中止する場合は、
『Cancel』をクリックしてください。

5) インストールの終了画



①インストール終了後に SmartPSS を起動する場合は、
[Run SmartPSS]にチェックを入れてください。
『Finish』をクリック後に自動的に起動します。

②『Finish』をクリックでインストールは終了です。

2.2.2. アンインストール

1) SmartPSS のアンインストーラーの起動

※アプリケーション起動中はアンインストールの実行はできません。アンインストール実行前に SmartPSS または PC-NVR (Storage Service) を終了させてください。

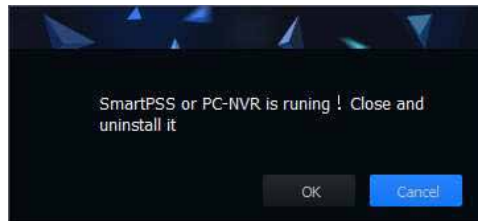


① スタートをクリックし、プログラム一覧を表示させます。

② SmartPSS の項目から『Uninstall SmartPSS』をクリックし、アンインストーラーを起動させます。

※ “次の不明な発行元からのプログラムにこのコンピュータへの変更を許可しますか？” のユーザーアカウント制御の画面が表示された場合、『OK』をクリックします。

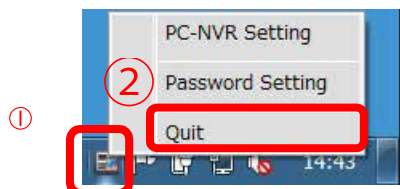
※ 下記のメッセージが表示された場合、SmartPSS または PC-NVR (Storage Service) が起動中です。『OK』または『Cancel』をクリックしてメッセージを消去し、SmartPSS または PC-NVR (Storage Service) を終了させてください。



i) SmartPSS の終了

SmartPSS の画面右上の  をクリックし SmartPSS を終了させてください。

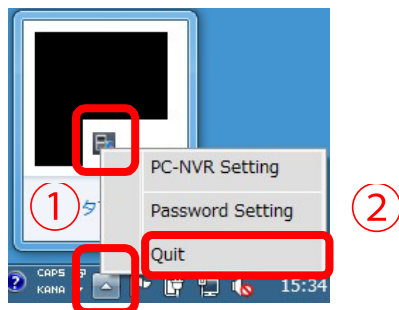
ii) PC-NVR (Storage Service) の終了



① ウィンドウズ画面の右下の  アイコンを右クリックし、メニューを表示させます。

※ウィンドウズ画面の右下に  のアイコンがない場合は、

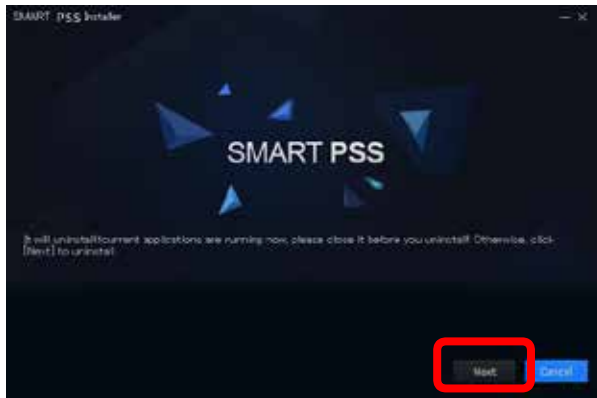
 をクリックすると、表示されていないアイコンの一覧が表示されます。一覧の中から  のアイコンを検索し、右クリックしてください。



② メニューから『Quit』をクリックし、PC-NVR (Storage Service) を終了させます。

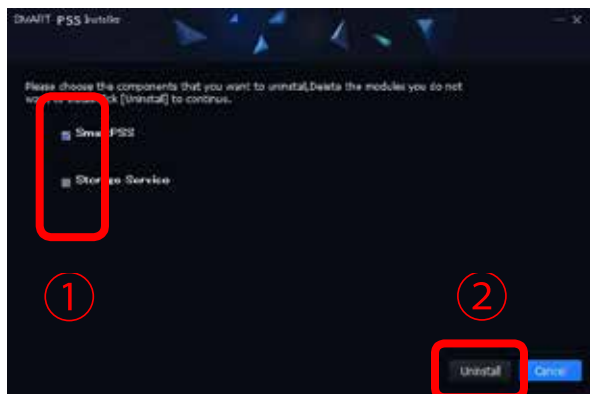
※パスワードの入力画面が表示された場合、パスワードを入力し、『OK』をクリックします。デフォルトのパスワードは “admin” です。

2) アンインストールの実行確認画面



『Next』をクリックし、次の設定に移行します。

3) アンインストールのモジュール選択



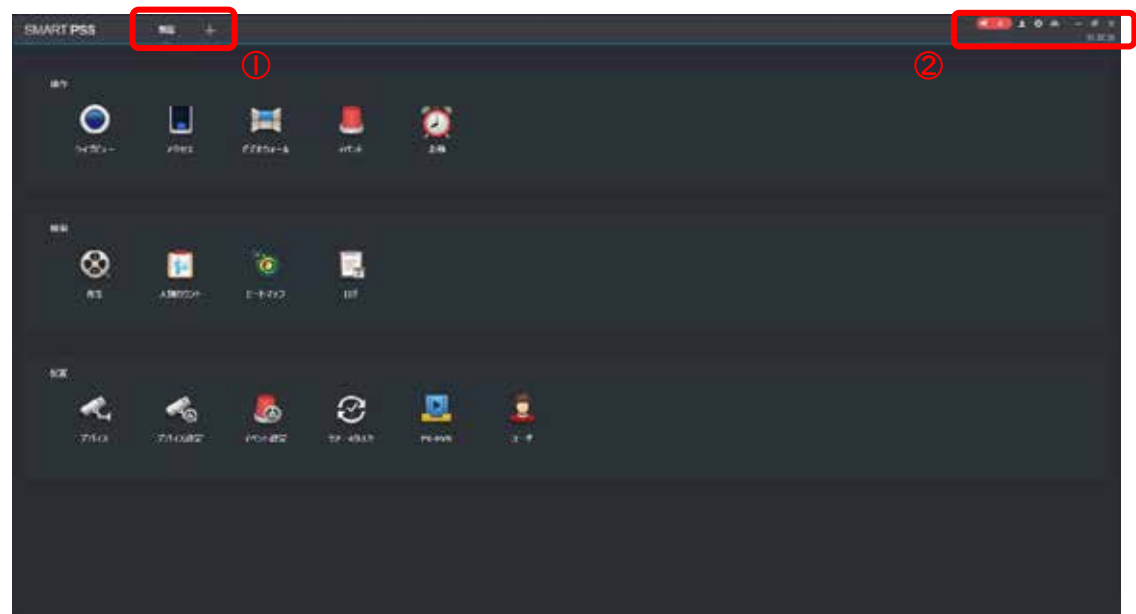
- ①チェック項目からアンインストールするモジュールを選択します。
※インストールされているモジュールのみチェックが入っています。
- ②『Uninstall』をクリックすると、アンインストールが開始します。

3. 操作手順

- ・本手順書では Windows 版の SmartPSS のバージョン 2.003 の画面です。
- ・ご使用になられるバージョンによって、本手順書と一部異なる画面になる場合がございます。
- ・本手順書内の () 内の英語表記は SmartPSS の言語が『英語』の場合の表記です。

3.1. 新規画面簡易説明

新規画面の画面説明を表記します。この画面は SmartPSS での機能を操作／設定を行うための基本画面となります。



番号	名称	機能
①	機能タブ	 をクリックすると、[新規] (New) タブが追加され機能リスト一覧が表示されます。
②	ヘルプ	●  をクリックするとユーザが切り替わります。 ●  をクリックすると画面がロックされます。 ●  をクリックするとシステム設定ページに進みます。 ●  をクリックするとヘルプドキュメントが閲覧できます。 ●  をクリックすると画面が最小化されます。 ●  をクリックすると画面が最大化されます。 ●  をクリックすると SmartPSS が終了します。
	システム情報	 17:59:26 : システム時刻が表示されます  をクリックすると  CPU とRAMの状態が表示されます

番号	名称	機能	
⑤	機能リスト	 [ライブビュー] (LiveView)	ライブ映像を視聴、PTZ の操作を行うことができます。
		 [アクセス] (Access)	アクセスコントロールの管理を行うことができます。。
		 [ビデオウォール] (VideoWall)	ビデオウォールの設定を行うことができます。
		 [イベント] (Event)	SmartPSS でのカメラやレコーダのイベント受信の表示を行うことができます。
		 [出勤] (Attendance)	出退勤管理を行うことができます。 ※（サポートしている機器はございません。）
		 [再生] (PlayBack)	録画映像を再生/エクスポートを行うことができます。
		 [人物カウント] (People Count)	ピープルカウントの解析／結果の表示を行うことができます。
		 [ヒートマップ] (Heat Map)	ヒートマップの解析／結果の表示を行うことができます。
		 [ログ] (Log)	SmartPSS、カメラならびにレコーダのログの表示を行うことができます。
		 [デバイス] (Device)	SmartPSS にカメラやレコーダの追加や接続を行うことができます。
		 [デバイス設定] (Device CFG)	カメラやレコーダの各設定を行うことができます。
		 [イベント設定] (Event Config)	カメラやレコーダのイベント設定を行うことができます。
		 [ツアープラン] (Tour & Task)	SmartPSS のライブ映像の表示のツアー設定を行うことができます。
		 [PC-NVR] (PC-NVR)	カメラやレコーダのライブ映像を PC に録画することができます。
		 [ユーザ] (User)	SmartPSS のユーザの追加・変更・削除を行うことができます。

3.2. SmartPSS 起動

ウィンドウズの画面にある SmartPSS のアイコン  をダブルクリックします。

3.2.1. 管理者パスワード設定

初回起動時に管理者（admin）のパスワードを設定する必要があります。

- ①[パスワード]に管理者パスワードを入力します。
- ②[パスワード確認]に[パスワード]で入力した、管理者パスワードを再度入力します。
- ③[登録後、自動ログイン]にチェックを入れた場合、管理者パスワード設定後にログイン画面を省くことができます。
- ④『OK』をクリックし、管理者パスワード設定を終了します。

③

注意：

- i) システムのユーザ名は” admin” で固定ですが、初期パスワードはユーザが設定してください。
- ii) パスワードは 8 文字以上です。

3.2.2. SmartPSS ログイン

1) ログイン画面

[ユーザ名] 、[パスワード]  を入力し、『ログイン』(Login)をクリックして SmartPSS にログインしてください。
※[パスワードを保存](Remember Password)、[オートログイン](Auto login)は必要に応じて設定してください。

[パスワードを保存] (Remember Password)	次回起動時に前回ログインしたパスワードが入力された状態でログイン画面が表示されます。
[オートログイン] (Auto login)	次回起動時に前回ログインしたユーザーで自動的にログインします。 ※ユーザ切り替えて設定の変更できます。

2) 機能説明映像



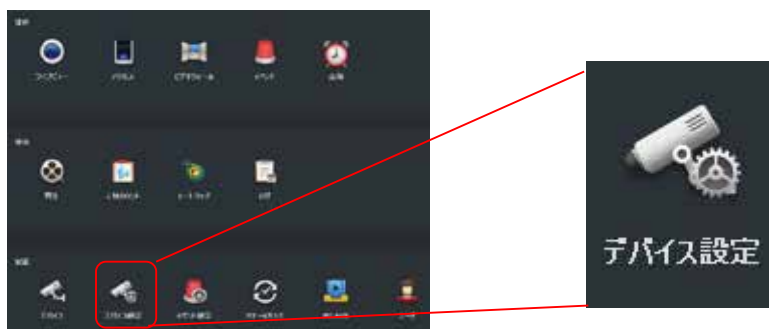
初回のログイン時に機能説明映像が表示されますので、
 をクリックして終了させてください。

3.3. SmartPSS への登録

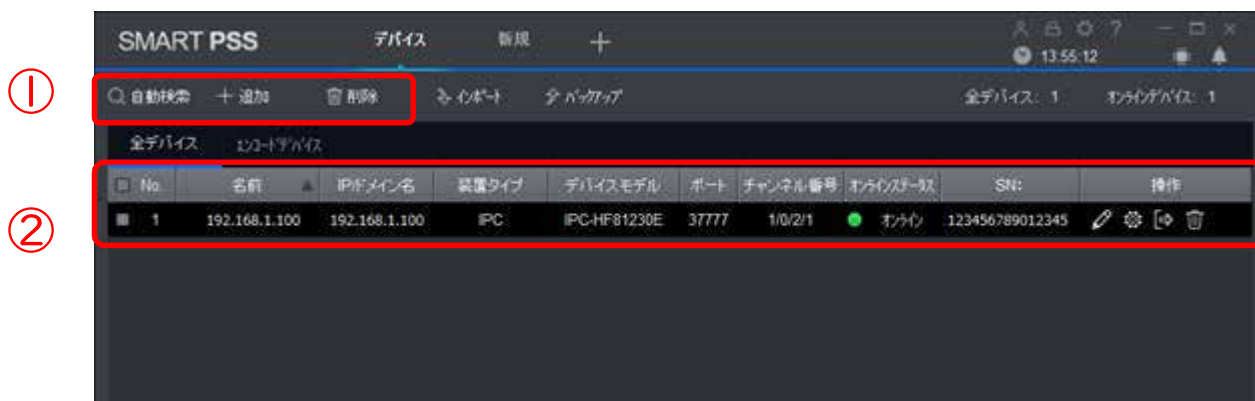
3.3.1. デバイス画面の表示

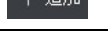
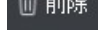
新規の画面の機能リストから『デバイス』(Device)のアイコンを  クリックします。

※新規のタブがない場合は機能タブの上段(“SmartPSS”のロゴの横)の  をクリックしてください。



・デバイス画面



番号	項目		機能
①	デバイスメニュー	 自動検索 (Search)	NSK製のカメラ／レコーダを自動で検出し、登録を行います。
		 追加 (Add)	P2P や DDNS の設定カメラ／レコーダを手動で登録を行います。
		 削除 (Delete)	登録リストで選択されたカメラ／レコーダを登録リストから削除します。
②	登録リスト	[名前] (Name)	登録の際に設定したデバイス名が表示されます。
		[IP/ドメイン名] (IP/Domain Name)	カメラ／レコーダの IP アドレス、P2P 接続時のシリアルや DDNS ドメイン名が表示されます。
		[装置タイプ] (Type)	接続されているカメラ／レコーダのタイプが表示されます。
		[デバイスモデル] (Model)	カメラ／レコーダの設定されているモデル名が表示されます。
		[ポート] (Port)	接続するポート番号が表示されます。
		[チャンネル番号] (Channel Number)	カメラ／レコーダのビデオ入力／ビデオ出力／アラーム入力／アラーム出力が表示されます。
		[オンラインステータス] (Online Status)	オンライン(Online)  オンラインはカメラ／レコーダと接続状態です。
			オフライン(Offline)  オフラインはカメラ／レコーダと接続されていない状態です。
		[SN] (SN)	カメラ／レコーダのシリアル番号が表示されます。
		[操作] (Operation)	 カメラ／レコーダのデバイス名、ポート番号、ユーザ名、パスワードの変更ができます。

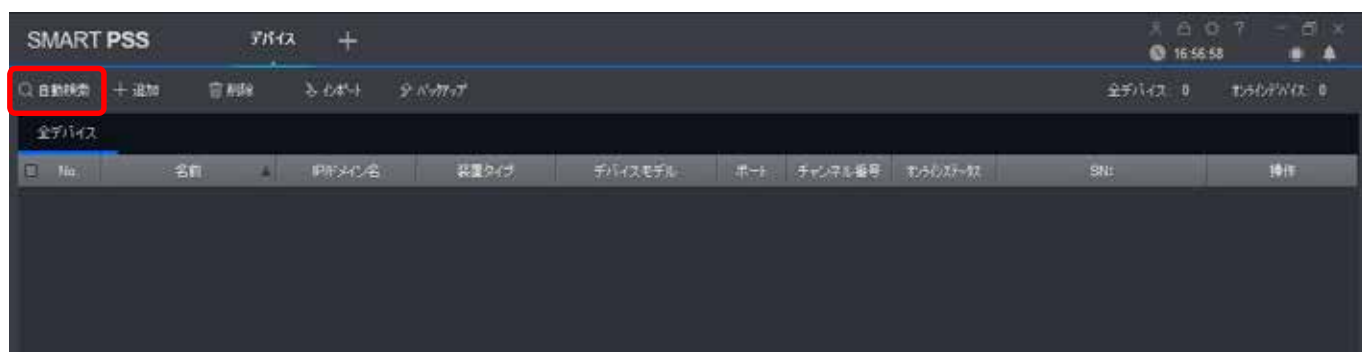
番号	項目	機能
		カメラ／レコーダのデバイス設定画面が表示されます。
		カメラ／レコーダにログイン／ログアウトをします。
		カメラ／レコーダをデバイス登録リストから削除します。

3.3.2. カメラ／レコーダの自動検索

ネットワーク内のカメラ／レコーダを自動検出し、登録を行います。

1) 自動検索画面を表示

デバイス画面左上にある  自動検索 の『自動検索』(Search)をクリックすると、自動検索画面が表示されます。



2) カメラ／レコーダの検索ならびに選択



①検索結果一覧から登録するカメラ／レコーダを選択します。

(リストの左端の ☐ にチェック ☒ を入れる。)

②『追加』(Add)をクリックし登録します。

※一覧にない場合は『キャンセル』(Cancel)をクリックし、自動検索画面を消去し、しばらく時間を置いてから再度、『自動検索』(Search)をクリックしてください。

3) ユーザ名、パスワードの入力



①選択したカメラまたはレコーダのログインするための [ユーザー名](User Name)と[パスワード](Password)を入力します。

②『OK』をクリックすると、登録リストに追加されます。

3.3.3. カメラ／レコーダ手動登録

自動検索で IP アドレスが表示されない場合やカメラ／レコーダを P2P や DDNS にて接続する場合の登録を行います。

1) 手動登録画面を表示

画面左上にあるの  『追加』 (Add) をクリックします。



2-1) 手動登録画面 (IP/DDNS 接続)



①接続情報を入力します。

※[登録モード]で「IP/ドメイン」を選択した際に、手動追加画面が IP/DDNS 用に変更されます。

②設定が終了したら、[追加]をクリックします。

※登録後に続けて他のカメラ／レコーダの登録を行う場合は、[保存して続ける]をクリックしてください。

項目	設定内容
[チャンネル名]	SmartPSS に登録するチャンネル名を入力します。 ※登録のカメラ／レコーダの一覧が表示された際に、カメラ／レコーダが判別できるような名前を付ける事を推奨します。
[登録モード]	「IP ドメイン」を選択します。
[IP/ドメイン名]	接続するカメラ／レコーダのIP アドレス、またはDDNS を設定した際のドメイン名を入力します。
[ポート]	接続するカメラ／レコーダで設定されている TCP ポートのポート番号を入力してください。デフォルトはカメラ、レコーダとも「37777」です。
[グループ名]	グループを選択します。 ※グループを作成していない場合は、「初期設定グループ」のみです。
[ユーザ名/パスワード]	カメラ／レコーダにログインするユーザー名とパスワードを入力します。

2-2) 手動登録画面 (P2P 接続)

①接続情報を入力します。

※[登録モード]で「SN (P2P 対応デバイス向け)」を選択した際に、手動追加画面が P2P 用に変更されます。

②設定が終了したら、[追加]をクリックします。

※登録後に続けて他のカメラ／レコーダの登録を行う場合は、[保存して続ける]をクリックしてください。

項目	設定内容
[チャンネル名]	SmartPSS に登録するチャンネル名を入力します。 ※登録のカメラ／レコーダの一覧が表示された際に、カメラ／レコーダが判別できるような名前を付ける事を推奨します。
[登録モード]	「SN (P2P 対応デバイス向け)」を選択します。
[SN]	接続するカメラ／レコーダのシリアル番号を入力します。
[グループ名]	グループを選択します。 ※グループを作成していない場合は、「初期設定グループ」のみです。
[ユーザー名/パスワード]	カメラ／レコーダにログインするユーザー名とパスワードを入力します。

3.3.4. デバイスの接続

各機能タブでカメラ／レコーダを操作する場合、オンライン状態でなければなりません。カメラ／レコーダの

[オンラインステータス]が  **オンライン** 「オンライン」の状態でない場合は、[操作]のアイコン  をクリックし、カメラ／レコーダにログインしてオンライン状態にしてください。

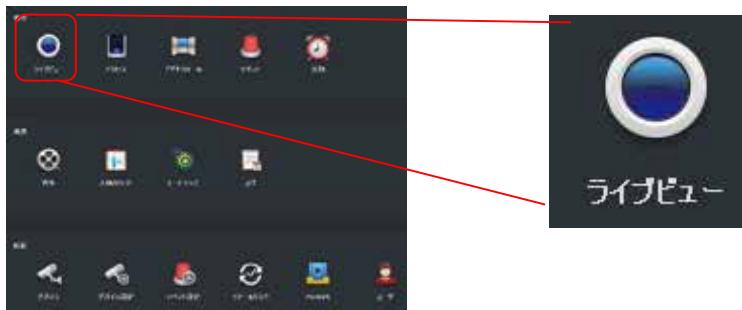
No.	名前	IPアドレス	装置タイプ	デバイスモデル	ポート	チャンネル番号	オンラインステータス	SN	操作
1	192.168.1.100	192.168.1.100	N/A	N/A	37777	0/0/0/0	● オンライン	N/A	[右矢印]
2	192.168.1.101	192.168.1.101	N/A	N/A	37777	0/0/0/0	● オンライン	N/A	[右矢印]

3.4. ライブ映像表示

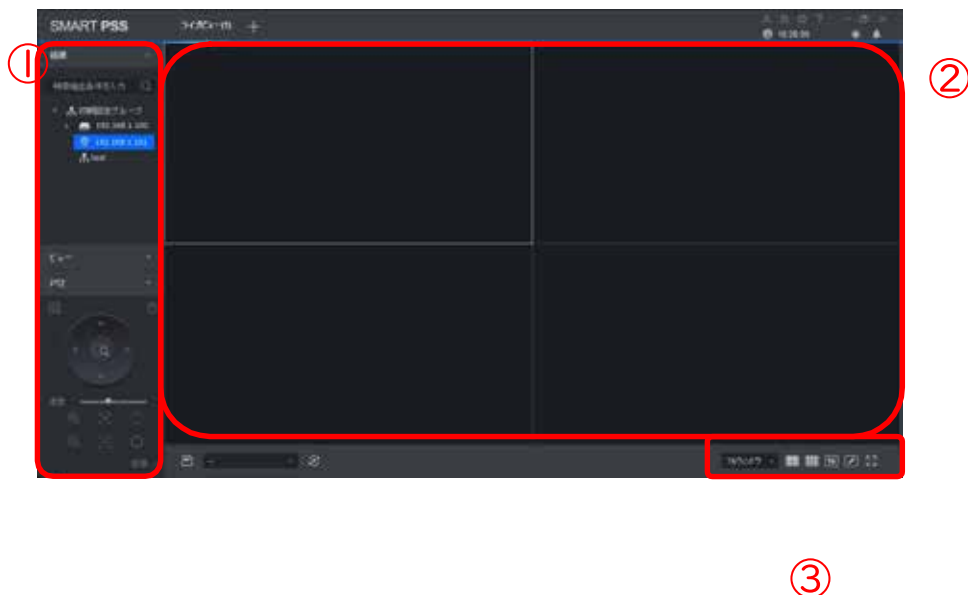
3.4.1. ライブビュー画面の表示

新規の画面の機能リストから『ライブビュー』(LiveView)のアイコンを  クリックします。

※新規のタブがない場合は機能タブの上段（“SmartPSS” のロゴの横）の  をクリックしてください。



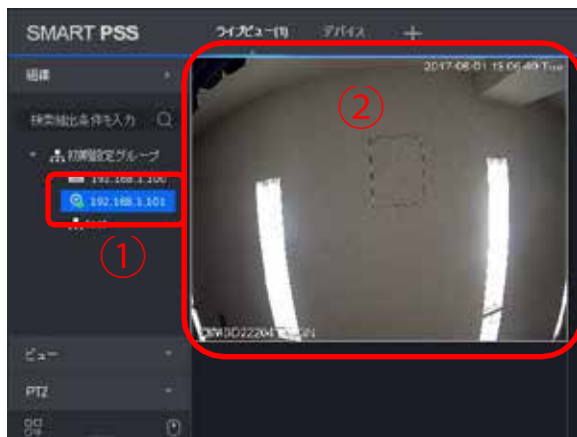
・ライブビュー画面



番号	項目	機能
①	[組 織]	登録リストが表示されます。 カメラ／レコーダのアイコンの右下に状態のマークがつきます。 なし：ログイン状態、  ：ライブビュー表示状態、  ：ログオフ状態
②	ライブビューウィンドウ	指定したカメラのライブ映像が表示されます。
③		表示されている全てのライブ映像の表示比率を変更します。
		1 画面に表示するライブビューウィンドウ数を 4/9/16 にします。
		1 画面に表示するライブビューウィンドウ数を他の数に設定やユーザが作成することができます。
		表示しているライブビューウィンドウがフルスクリーンで表示されます。

3.4.2. ライブ映像の表示

※ライブ映像を表示させるカメラ／レコーダがログオフ状態（アイコンにが付いている）場合は、先に「3.3.4 デバイスの接続」の手順でカメラ／レコーダにログインしてください。

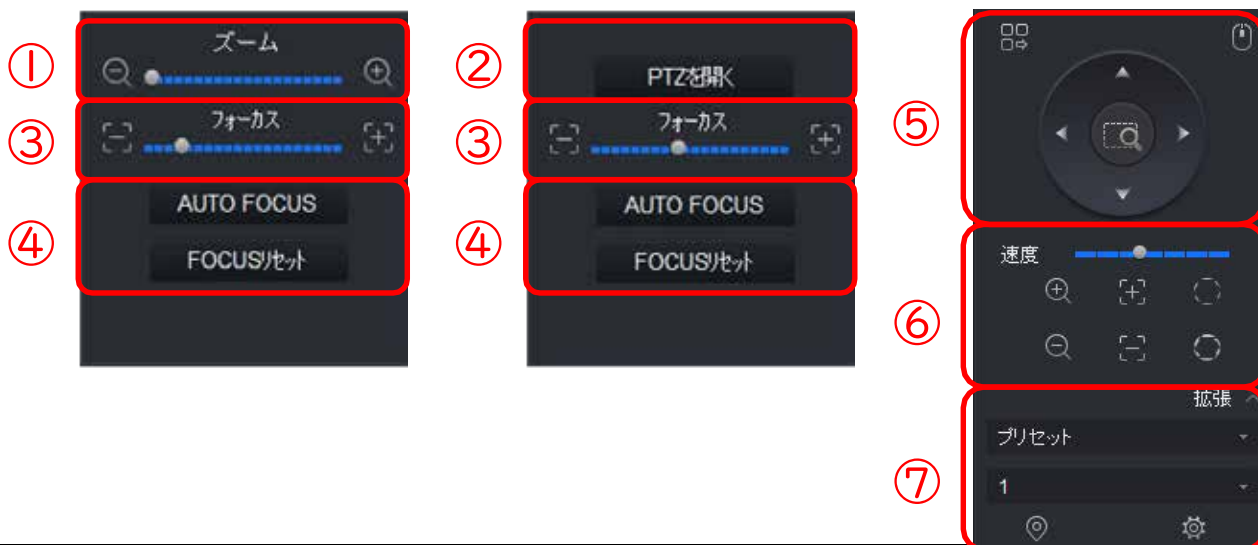


- ①ライブ映像の表示したいカメラ／レコーダをダブルクリックします。
※NVR レコーダは接続されているカメラ全て表示されます。
※レコーダ内のカメラを指定したい場合は右にあるをクリックして表示したいカメラを選択してください。
- ②白い枠線のウィンドウに映像が表示されます。
※映像が表示された場合、アイコンにが付きます。

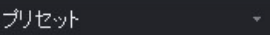
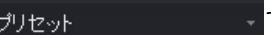
※白い枠線に映像が出力されますので、ライブ映像を表示したいウィンドウでクリックし白い枠線を変更させてください。また、レコーダをダブルクリックした場合は白い枠線のウィンドウから順にライブ映像が表示されていきます。

3.4.3. PTZ 操作

PTZ 操作画面は指定したカメラによって画面が異なります。



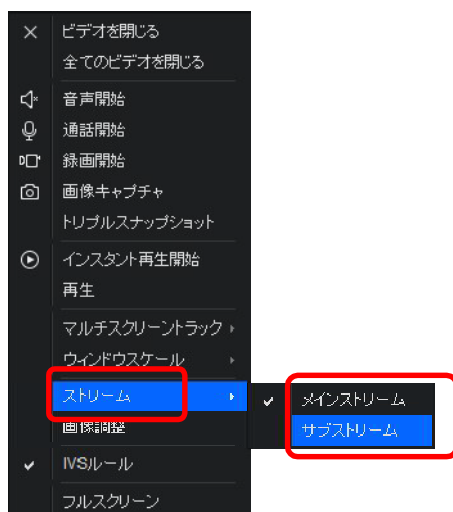
番号	項目	機能
①	ズーム	 か  をクリックしてズームを調整します。
②	PTZ への切り替え	『PTZ を開く』(Switch to PTZ)をクリックすると、システムが PTZ コントロールにジャンプします。
③	フォーカス	 か  をクリックしてピントを調整します。
④	オートフォーカス	『AUTO FOCUS』(Auto Focus)をクリックするとオートフォーカスが作動します。
	フォーカスのリセット	『FOCUSのリセット』(Reset Focus)をクリックするとリセットされます。
⑤	メニュー	 をクリックすると PTZ メニューに移動し、カメラの OSD の表示／操作ができます。
	マウスシミュレーター	 をクリックするとマウスで PTZ が操作できます。
	方向	 ,  ,  をクリックすると、PTZ を移動させることができます。

番号	項目	機能
	3D 位置	 をクリックし、ライブビューウィンドウ内に枠を描くと、描画枠に合わせ、PTZ の移動やピントを調整します。
⑥	速度	PTZ の移動速度を制御します。1～8 の移動ステップに設定できます。
	ズーム	 か  をクリックしてズームを調整します。
	フォーカス	 か  をクリックしてピントを調整します。
	絞り	 か  をクリックして明るさを調整します。
⑦	拡張	プリセット   で[プリセット](Preset)を選択し、  にてプリセット を設定すると、カメラに設定したプリセット位置にて簡単に移動することができます。 注意： 最大 128 個のプリセットを設定することができます。
		ツアー  で[ツアー](Tour)を選択し  にてツアー を設定すると  でカメラの設定したプリセットポイント間を巡回することができます。 注意： 最大 8 個のツアーを設定することができます。
		パン  で [パン] (Pan) を選択し、  をクリックすると、水平に回 転します。
		スキャン  で [スキャン] (Scan) を選択し、2 つの端点  を設定 すると、設定した端点の間でカメラが繰り返し回転します。
		パターン  で[パターン](Pattern) を設定すると、カメラの操作が記録 され、記録どおりの動作をさせることができます。
		予備  でAuxでは、予備コマンドに進んで予備ポイントが起動 できます。

3.4.4. ライブビュー ストリーム切替

ライブ画面上で、マウスを右クリックし、ストリームをクリックします。

これにより、ライブ映像をメインストリームかサブストリームで表示するかを選択する事が出来ます。

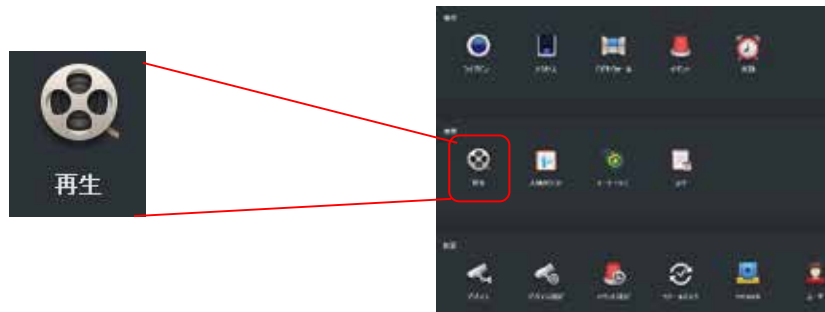


3.5. 録画再生

3.5.1. 再生画面の表示

新規の画面の機能リストから『再生』(PlayBack)のアイコンを  クリックします。

※新規のタブがない場合は機能タブの上段(“SmartPSS”のロゴの横)の  をクリックしてください。



3.5.2. 録画再生

※録画再生を行うカメラ／レコーダがログオフ状態（アイコンに  が付いている）場合は、先に「3.3.4 デバイスの接続」の手順でカメラ／レコーダにログインしてください。

1) 録画データの条件を指定



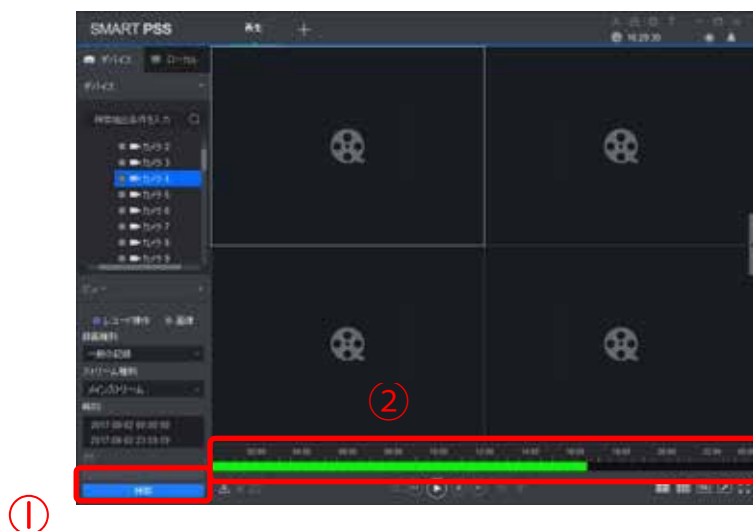
以下の条件を設定します。

- ・録画再生を行うカメラ
- ・[レコード操作](Record)／[画像](Picture)
- ・[録画種別](Record Type)
- ・[ストリーム種別](Stream Type)
- ・[時刻](Time)

項目		機能
[機器]		デバイス画面で登録されたカメラ／レコーダの一覧が表示されます。
[レコード操作]		動画の録画データを取得します。
[画像]		静止画（スナップショット）の録画データを取得します。
[録画種別]	すべての録画	全ての録画データを取得します。
	一般の記録	標準の録画データを取得します。
	アラーム録画	アラームにより録画されたデータを取得します。
	MD（動体検知録画）	動体検知により録画されたデータを取得します。
	インテリジェント	インテリジェントにより録画されたデータを取得します。

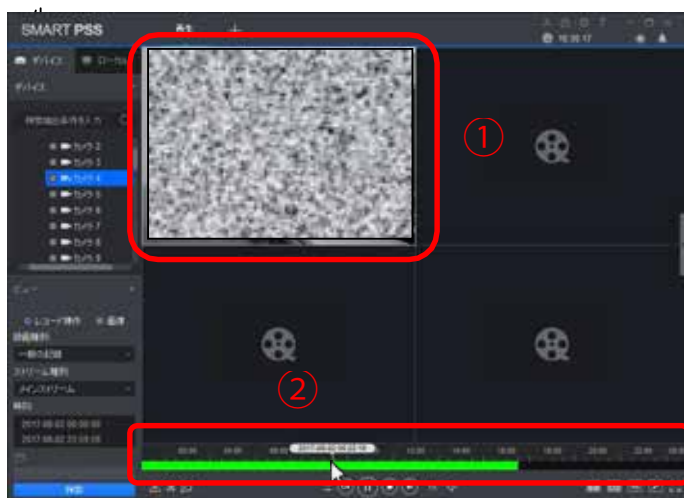
項目		機能
	カード録画	カード番号で録画されたデータを取得します。 ※カメラでは使用しません
[ストリーム種別]	メインストリーム	メインストリームの録画データを取得します。
	サブストリーム	サブストリームの録画データを取得します。
[時刻]		取得する録画データの日時を設定します。

2) 録画データを検索



- ①『検索』をクリックします。
- ②録画データがある場合は、タイムバーに緑色のバーで録画されている時間が表示されます。

3) 録画データを再

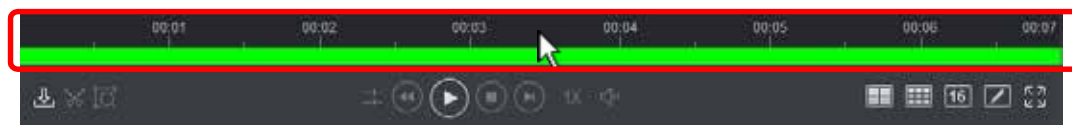


- ①  のあるウィンドウをクリックします。
- ②タイムバー上で再生したい時間位置をクリックします。①でクリックしたウィンドウに録画映像が表示されます。

※時間表示はタイムバー上でマウスのホイールを回転させることで、24 時間表示（2 時間間隔）から 7 分表示（1 分間隔）で表示することができます。また、タイムバーの表示されている時間上でクリックした状態で左



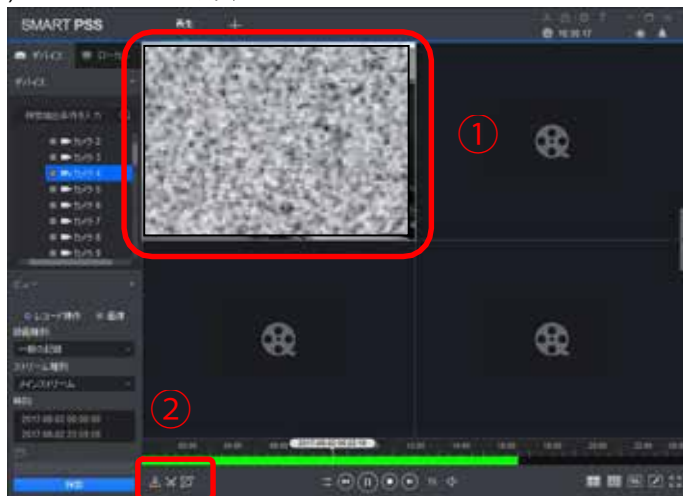
右に動かすことで表示している時間を変更することができます。



3.5.3. エクスポート

※エクスポートを行うには、先に「3.5.2. 録画再生」の手順で録画再生を行ってください。

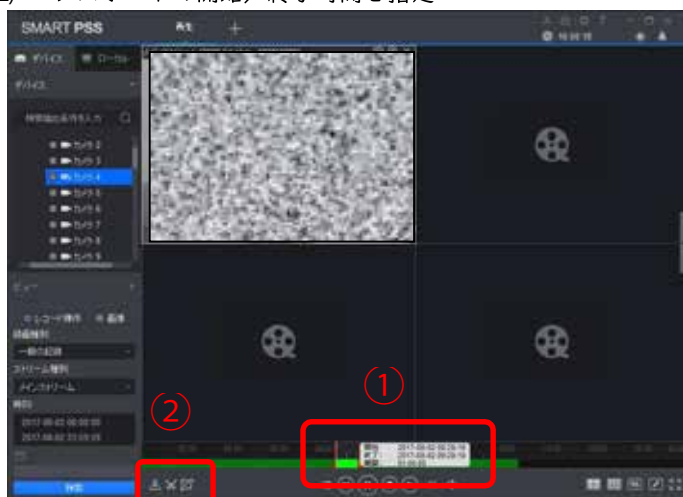
1) エクスポートの開始



①エクスポートする再生中のウィンドウをクリックします。

②エクスポートを行う録画時間に  をクリックします。

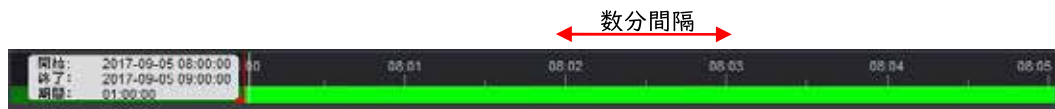
2) エクスポートの開始／終了時間を指定



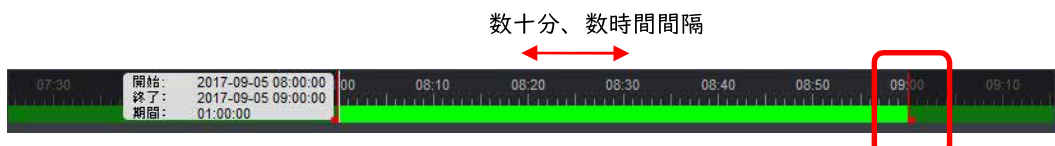
①  が表示されますので必要に応じてエクスポートする録画時間（開始時間、終了時間）をマウスで調整してください。

②録画の切り取り部分が決まりましたら、もう一度  をクリックします。

※タイムバーの時間表示の間隔を数分間隔に表示している場合は、エクスポートの時間設定時に設定枠  がタイムバーの表示内にならない場合があります。



無い場合は、タイムバーの表示している時間をクリックした状態でスライドさせ表示時間を変更させるか、またはマウスのホイールを回転させて時間表示の間隔を数十分や数時間間隔に縮小表示すれば設定枠はタイムバー内に表示されます。



3) エクスポートの保存先指定



①エクスポートの[パス]を選択します。

②エクスポートの[ファイル形式]を選択します。

③[OK] をクリックします。

※エクスポートするために再生の停止情報が表示されたら、[OK] をクリックします。

ファイル形式	再生
ASF	全ての Windows Media Player で再生可能
AVI	全ての Windows Media Player で再生可能
MP4	Windows Media Player 12 以降で再生可能
DAV	SmartPlayer で再生可能 (専用再生ソフト)

※[ファイル形式]が[元フォーマット]に設定されている場合、

[SmartPlayerをエクスポート]にチェックマークを入れると、元フォーマットの再生プレーヤーもエクスポートされます。

4) エクスポート画面



エクスポートが開始されると、[エクスポート進捗] の画面が表示されます。

[ステータス]が 100%になればエクスポート終了です。

エクスポートが終了した項目は、[エクスポート進捗] のリストから[エクスポート済み]のリストに移動します。

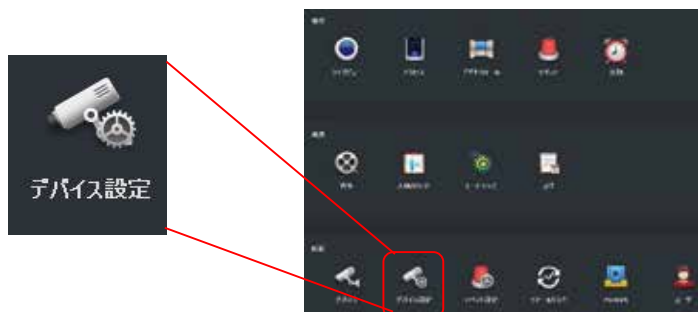
※[エクスポート済み] タブをクリックすると、エクスポート履歴の表示やエクスポート保存先のフォルダを開くことができます。

3.6. エンコード設定

3.6.1. デバイス設定画面の表示

新規の画面の機能リストから『デバイス設定』のアイコン  をクリックします。

※新規のタブがない場合は機能タブの上段（“SmartPSS” のロゴの横）の  をクリックしてください。

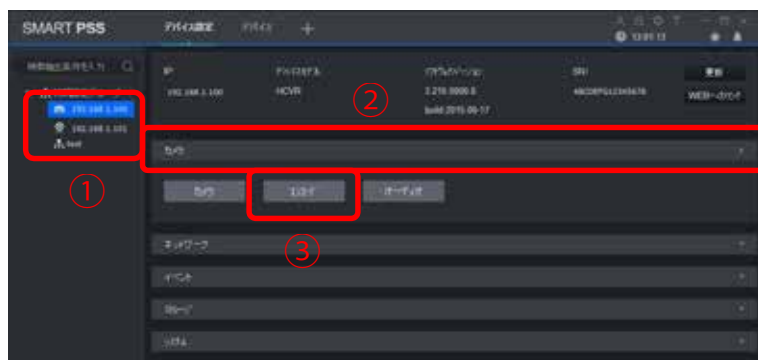


3.6.2. エンコード設定

※設定を変更させるカメラ／レコーダがログオフ状態（アイコンに  が付いている）場合は、先に「3.3.4 デバイスの接続」の手順でカメラ／レコーダにログインしてください。

1) エンコード設定画面を表示

※カメラやレコーダによってボタンの有無など一部異なる画面になる場合がございます。



①カメラ／レコーダを選択します。

②[カメラ]のアイコン  をクリックし、カメラの項目を表示させます。

③[エンコード]をクリックします。

・エンコード設定画面



番号	項目	機能
①	[チャンネル番号]	エンコードを変更するチャンネル番号を選択します。 ※レコーダのみ
②	[ストリーム]	変更するストリームを選択します。「通常」、「MD」、「アラーム」の個々の状態での設定が可能です。
③	[ビデオ設定]	サブストリームの有効／無効を設定します。
④	[圧縮]	ビデオの圧縮形式を選択します。 ※カメラやレコーダによって設定可能な圧縮形式が異なります。
	[解像度]	ビデオ映像の解像度を選択します。
	[フレームレート (FPS)]	1秒間のコマ数を設定できます。コマ数が多いほど、滑らかな映像が記録できます。
	[ビットストリーム]	1秒間のデータ量を設定できます。 データ量が多いほどクリアな映像が記録できますが、その代わりに録画データの量が多くなります。NSK製品ではこのビットレートの設定が映像の品質に直結します。
	[参照ビットレート]	設定可能なビットストリームが表示されます。
	[オーディオ設定]	オーディオの有効／無効の設定をします。
	[エンコードモード]	オーディオ形式を選択します。 G.711A、G.711U、PCM の選択ができます。
⑤	[音声頻度]	音声周波数（周波数が高ければ高いほど高品質、データ量も大きい） 8k、16k、32k の選択ができます。
	[音声ソース]	音声入力先を選択します。 BNC：レコーダのオーディオコネクタ、同軸：カメラ側のマイク入力部
	[適応]	設定の保存処理を行い、引き続き設定を行うことができます。
	[保存]	設定を保存し、エンコード設定画面は消去します。
	[キャンセル]	設定を保存せずにエンコード画面を消去します。

2) エンコード設定



①メインストリーム／サブストリームの設定
を変更します。

②[保存]をクリックします。

②

3.7. デバイスグループ設定

ライブビューと再生画面でデバイスを分類できるグループの作成手順です。

※デバイスの設定はバックアップに反映されません。

3.7.1. 新しいグループの作成①

「ライブビュー」画面を開き、「新しいグループ」をクリックして下さい。



3.7.2. 新しいグループの作成②

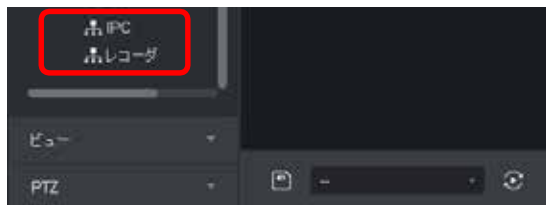


①「名前」に任意の名前を入力してください。

ださい。

3.7.3. 新しいグループの作成③

画面下に作成したグループが追加されます。デバイスのアイコンをドラッグし、グループのアイコン



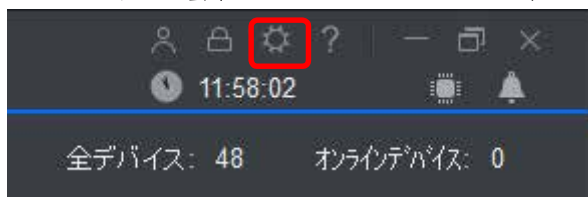
ンにドロップするとデバイスが移動します。

3.8. 便利機能

SmartPSS の便利な機能について記載します。

3.8.1. デバイス自動ログイン

SmartPSS 右上の歯車型アイコンをクリックして下さい。



以下の画面が表示されます。値を設定後、「保存」をクリックして下さい。設定の内容によっては、SmartPSS の再起動が必要です。



NO	項目	メニュー	機能
①	ベース	初期ページ	ソフトウェア起動後に表示するページを設定。 新規ページ、プレビュー、最後のページを復元
②		最大表示	最大表示した時の表示方法。 フルスクリーン(全画面に表示) 最大ウィンドウ(タスクバーを除いた全画面に表示)
③		最小操作	浮動ウィンドウ表示 最小化すると、デスクトップにアイコンが表示されます。
④	プレビュー	最後のプレビューを再開	SmartPSS 起動しプレビュー画面を開くと、前回終了時のライブ映像が表示されます。
⑤	デバイスマネージャ	デバイスオートログイン	SmartPSS 起動時に、登録したデバイスに自動ログインを行います。

3.8.2. デバイス情報エクスポート

SmartPSS に登録したデバイス情報を XML ファイルにエクスポートします。

「デバイス」を開き「バックアップ」をクリックします。グループ情報はエクスポートされないので注意願います。



「ローカルパス」のアイコンをクリック



①アイコンをクリックし、ファイル名と保存先を指定して「保存」をクリックします。

②「バックアップ」をクリックします。

以下の画面が出たら、エクスポートは終了となるので、「OK」をクリックします。



3.8.3. デバイス情報インポート

エクスポートしたデバイス情報の XML ファイルを、SmartPSS にインポートします。

「デバイス」を開き、「インポート」をクリックします。



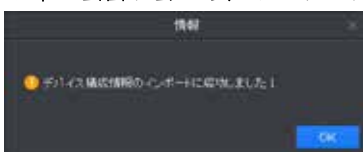
「ローカルパス」のアイコンをクリック



①アイコンをクリックし、インポートするファイルを指定して「開く」をクリック

②「インポート」をクリックします。

以下の画面が出たら、インポートは終了となるので、「OK」をクリックします。



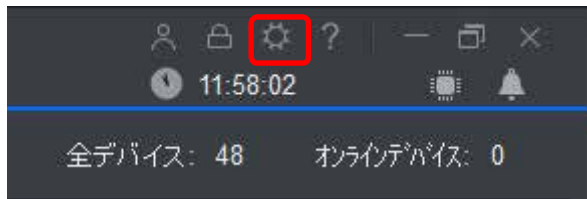
注意①：インポートした情報の反映には少し時間がかかります。

注意②：グループ設定はインポートできません。

3.8.4. SmartPSS のシステムバックアップ

SmartPSS のアプリケーションの設定をバックアップできます。

SmartPSS 右上の歯車型アイコンをクリックして下さい。



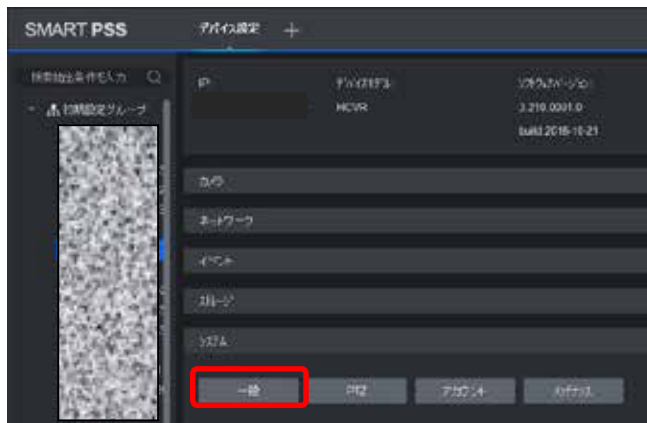
システム画面が表示されるので、一番下まで画面をスライドします。設定の内容によっては、SmartPSS の再起動が必要です。



N0	項目	メニュー	機能
①	バックアップ リストア	バックアップ	ボタンをクリックすると、「.pss」ファイルの保存先を聞かれます。 保存先とファイル名を指定し、ファイルを保存して下さい。
②		復元する	バックアップで作成したファイルを指定します。 ファイルを読み込ませると、アプリケーションが再起動します。 再起動後、SmartPSS のログインパスワードの入力が必要となります。

3.8.5. SmartPSS からデバイスへの時刻設定

「デバイス設定」を開き、ログイン済みのデバイスを選択します。
「システム」→「一般」をクリックして下さい。



「日付&時刻」をクリックして下さい。



「時刻同期」をクリックすると、PC の時刻設定とデバイスの時刻設定が同期します。

